

方法で利益を平均するのでありますから、其爲に事業が段々大きくなります、先きほどの川崎造船所が鐵を造ると云ふ御話は矢張りさう云ふ趨勢になつたのであらうと思ひます、如此外國に於ては大資本を投じ大規模なる經營組織と各事業が聯合する經濟組織を以て戰後世界市場に雄飛せんとする次第故我邦に於て製鐵事業を經營せんとする者も又此世界の趨勢に適應する様十分の思慮と研究あらんことを望みます。

私の申上げたことは考へて居りませぬから、前後いたしましたのが、製鐵事業の自給策と云ふものは、如何にして原料を供給するか、斯う云ふ方法を具體的に考へまして、原料の供給を考へると云ふことと、技術の進歩を圖ると云ふには技術家を優遇し、或は之を養成すると云ふことが一番必要なりと云ふことであります、平素から此の二點に付ての方法を御講じになつたならば鐵の自給策と云ふことも根本的に解決せらるゝことと考へます、どうも咄嗟であつて申上げることもございませぬ、少し長くなつて十五分を過ぎたか知れませぬが、甚だ失禮を致しました(拍手)

鐵鋼の獨立自給策に就て

高 崎 親 章

私が高崎でございませぬ、本日當會の幹事の方から御案内状が出ましてそれに私が講演を致すやうな名前が載せられてありましたが、實は私は承知して居らなかつたのであります、是は私の關係者の方から責任を以て私の名前を出したと云ふことであります、肝腎の私に於ては承知しませぬ、甚だ以て當惑して居ります、殊に私は皆さんの中には御承知か知りませぬが官海に聊か履歴を持つて居りますが田舎の庄屋をした位の人間でありまして製鐵とか製鋼とか云ふことには全くの素人であります、學識はなく實驗はございませぬ、學者専門家の大勢お集りの所に於て講演を致すやうな資格はございませぬ、故に今日は何か申上げますけれども決して皆様が耳をお傾けになるやうなことは申されませぬからそれは豫め御承知置を願ひます、併し私も日本製鋼所と云ふものに責任を取て居ります者でありますから此の責任上何も知らない、自分には腹案はないと申しまして、此の資本主に對して申譯がありませぬ、又社會に對し

て申譯がありませんから責塞ぎに何か一言申します。

我國製鋼事業を談ずるに當りましては私が關係いたして居ります所の日本製鋼所の由來を先づ皆様へ御紹介したいと考へます、日本製鋼所と云ふものは北海道室蘭にございまして明治四十年に工を起し四十四年に至りまして一月より開業したものでありますが、其資本は一千五百萬圓、社債一千萬圓合せて二千五百萬圓と云ふものを殆ど全部工場に固定せしめてございます、其半額は英吉利の「アームストロング」「グイックコース」の二會社から資本金を供給し所謂日英同盟の會社でございます、此會社が營業を始めました以來今日數年に及びますが、中々困難で利益を擧げるとが出来兼ねます、此來歴を一寸申上げますと開業の年には僅に百三十五圓の製造高しかありませぬ四十五年に至つて百九十萬圓、大正二年に至つて二百六十五萬圓と記憶して居ります、それより段々進みまして大年三年には三百五十萬圓に達して居ります、大正四年は未だ精算を遂げませぬから分りませぬが五百何十萬圓と云ふ生産高を擧げたのであります、之を平均しますと二百何十萬圓と云ふ位にしかありません、資本の一割位しか生産力がなかつたのであります、斯の如き小さな製造力では其生産高が全部利益でありまして一割位にしかありません、況や是より原料品を差引き職員の給料を拂ひ、税を拂ひまして利益があることはございませぬ、年々缺損に缺損を重ねて居る會社でありましたが、今日は皆さんの同情に依て注文も多く仕事も大きくなりましたして大正五年には殆ど一千萬圓に達する生産高を擧げることになりました、一千萬圓擧げることになれば多少の利益があることと思ひます、斯の如き事業は皆さんも御承知の如く中々困難なものであつて、彼の鐵道の「レール」とか建築材とか船材の鋼板とか云ふ定まつた物であれば何時でも買手があるので暇のあつた時分に澤山品物を拵へて蓄へて置きますれば宜いが日本製鋼所はさうは参りませぬ、製鋼所とは申し乍ら是は兵器製造所であります、兵器専門の製造所でありまして殆ど九分九厘迄兵器を製造して居ります、此兵器と云ふものは陸軍海軍の御注文に依て仕事をして居るのでありますが大砲や彈丸は、平素拵へてお客を待つて居ると云ふ品物でありませぬ、皆御注文に依て一つ一つ製作するのでありますから其製作毎に品物が違ひ従つて工場も違ひ職工技術が皆異なつて居ります故に此品物が注文に厚薄がありましたして中々算盤が取れぬのであります、

數年を通じて此注文が平均しましたならば誠に此仕事は結構であります。注文の多く輻湊する時があり或は閑な時がある、其度毎に工場に閑を來たし職工に不用を見ることが屢々あるが爲に餘程此の經濟を立るには甚だ困難な事業であります。斯の如きものに對しては國家の相當の補助でもなければ中々立行くものでありませぬ、然るに今や歐洲の戰亂に際し大分兵器の製造も盛になつて來た爲に關西地方杯に於て、段々鐵工所とか製鋼所とか云ふものが追々工場の設備が盛に起る模様であります。外國の注文も段々現はれて居るやうに承はつて居ります。是は誠に結構と考へますが、私の見る所では是は確に後日失敗に終ることと思ひます。併し乍ら茲に一の工場が起れば、假令ひ困難が來ても之が倒れると云ふことは容易にありません。資本主は随分後日に至つて缺損を見るであらうと今より推測して居ります。第一の出資者ではないが、其出資者の權利を受けた第二第三の出資者は困難であるに違ひない、併し事業は容易に倒れるものでありませぬから事業は後年に繼續され、ばそれだけ國家の生産力を増す次第であります。國家の爲に誠に慶賀すべきことでありますから私共は歓迎をして居ります。翻つて兵器製造の狀態に付て外國の有様を察しますと、御承知の如く獨逸には「クルップ」と云ふ大きな民營の兵器製造所がございます。英吉利には「アームストロング」若くは「ゲキツカース」と云ふ如き立派な民營の製造所がございますが我國に於きましては民營の兵器専門の製造所は私の關係して居ります。日本製鋼所の外ございませぬ、外國の兵器専門の製造所に於ては殊に獨逸の如き皇室の特に保護を受け政府の補助に預つて成立して居りますが、我が帝國に於きましては斯の如き組織になりたいと常に考へて居ります。日本では政府萬能主義で官營事業に其全權を集めた姿になつて居りまして、御承知の如く陸軍に於ては砲兵工廠、海軍に於ては海軍工廠、皆兵器製造を専門にやつて居りますが、英吉利の如きは全く官營の兵器製造所はない、いづれも民營の兵器製造所に於て製造して居ります。斯の如き組織が宜しいと云ふことは今日歐羅巴の事變に際して獨逸の狀態を見ても明かであらうと思ひますが獨逸が今日迄世界の強國を敵に引受けて兵備が少しも衰へず今日持續して居るのは何が故かと言へば「クルップ」あるが故と思ひます。御承知の如く「クルップ」の如きは平日各國の注文を受けて兵器の製造をして居る又民間の雜業をして居る、今日の如き有事の際には、各國の注文又兵

事に關係なき品物は之を全然排斥して兵器専門で一方に力を致すが故に別に工場を擴張するに非ず職工を増加するに非ずして數倍の働さを爲すことになり、我國の如きはどうかと言へば國家有事の際には忽ち工場擴張職工増員が俄に起るのであります、此の工場擴張も一年も掛らなければ擴張が出来ぬものが多々あるのであります、職工も俄に役に立つものでない、それから工場が出来て製造に掛れば品物が出来けれどもそれには又一年も掛ります、さう云ふことでは中々間に合はないと思ひます、斯ることは平日に於て、民間の製造に力を致すと云ふことが必要でないかと思ひます、故に私は兵器民營主義を持て居るのであります、尙ほ兵器は秘密を要するものがある、又製作に決して經濟的に出来ないものがある、斯の如きものは國費を惜まず十分政府に於ては金を掛けて其成功を期さなければならぬものと考へます、故に海軍にも陸軍にも此の兵器製造所を有して居ると云ふことは是は必要である、今日の狀態は已むを得ぬことである、併し乍ら政府に於ては此兵器に付ては改良と發明と云ふことを主とせられんことを希望して居る、今日は兵器の競争の世の中で世界の競争は皆兵器にある、兵器の一大發明を爲した國が勝を制して居るのであります、兵器の改良發明と云ふものは實に必要なことである、政府に於ては専ら此に意を注がれて而て或程度の一一般の仕事に於ては之を民間に委せられんことを希望するのであります、斯くする時には民間の製造所も今日は餘り良くありませんが將來に於ては私の會社杯に於ても各國の兵器を進て製造するものであります、又民間の一般製造家に於ては平日は兵器でなくとも船を造り、國家有事の時には兵器の製造をすると云ふ位になれば工場を増すに非ず職工を増すに非ずして數倍の働さを爲すことが出来ると思ひます、兵器製造に付ては斯くの如くあらんことを平素希望して居る者であります、政府に於ては民間の事業の獎勵をされて製鐵所の如きも大分大きくなつた、今仄に聞きますれば三千六百萬圓増資して擴張の計畫があるやうに承はつて居ります、誠に結構であります、之が議會に提出されたら私は眞先に賛成する積りであります、併し是は限度があることとさう無限に國費を費すことは出来ないと思ひます、又餘り是が大きくなり過ぎて民間の同じ事業の發達を妨げることがあつても甚だ憂慮に堪へぬと考へるのであります、日本に鐵の需要の年一年に増加して參りますことは實に著しきものであります、最近三年間の平均で外國から我が日

本に輸入する所の鐵の需要金高は六千七百萬圓になつて居るやうであります、之が既往の増加率に照して將來を計算して見ますと、今より十年の後に至りますと一億五千萬圓の輸入になる、又他の方法を以て之を計算して世界の鐵の産額を以て之を割出して見ると我國に於ても世界各国と同様に鐵の需要が進むものとしみますと、十年の後には一億七千萬圓と云ふ輸入を見なければ到底此の需要を滿すことにならないことになつて居るやうであります、實に大きなものであります、國家經濟の上に於て輸出入品に付て議論がありますのは棉花の輸入生絲の輸出之を大きなものと算へて居りますが、中々是抔は及ぶものでない、此の鐵の輸入額と云ふものが十年の後に一億七千萬圓も這入るやうになつたら國家の經濟は如何になるかと云ふことは憂慮しなければならぬ、是即ち今日此の鐵に付ての經濟を攻究すべき時機であります、茲に一寸お断はりして置きますが、鐵と鋼とは自ら區別がある筈であります、此の輸入品に付て統計上鐵と鋼を區別することは甚だ困難であります、又私のやうな素人には何を鐵と云ふか、何を鋼と言ふか、學者の議論でなければ分りませぬから之を一つにして統計の數字を只今申上げたのでありますから此段お断はりをして置きます、斯の如く鐵の需要が盛になつて來ましたから、只今申した製鐵所が三千六百萬圓の増資をして盛に製造されましても中々追附く次第でありませぬ、それで私の考に依りますと斯の如きことでは到底外國の輸入を防壓する譯にはいかぬ、又先刻もお話があつたやうであります、原料と云ふことに付ても亦問題である、我國は勿論我國の勢力範圍内に於て此原料を採檢すると云ふことに付て最も攻究を要すべき今日の時機であると考へます、我が帝國は悲い哉我國が小さい故か鐵鑛の大きなものを發見することが出來ないやうであります、或は朝鮮には立派な鐵鑛があると云ふ噂がありますが、是も大したものではなからうと思ひます、此點に付ても攻究を要すべきことと考へますが、是は天産物であります、故に如何とも致方がない、故に其鐵鑛の産する所の國に向つて其國と共同事業として、其國から材料を出させ我國に於ては資本と學術とを以て此の需要を滿たすと云ふ方法を講ずべき時機ではないかと考へます、當局は宜しく此點に付て御攻究あらんことを希望する次第であります、而して一方鐵と鋼との事業に付ましては如何に之を處理すれば宜いかと云ふことに付て行はれぬことではありませうが私は斯様な考を持て居る、製鐵所を本に致し

まして、此の資本が六七千萬圓と云ふことでありますが、二千五百萬の資本を有して居る、我田引水か知りませぬが私の關係して居る日本製鋼所を合併して、更に民間から一億の資本を募つて二億の大會社を設立したら如何と云ふ考を持つて居ります、其募集する一億の資本の中には今現に内地にあります所の或鐵工所、製鐵所と云ふやうなものを之に網羅して更に不足な所は新株を募つて之に應ぜしめ而て利益のあつた場合は其利益は政府が分配を受けない、民間の出資に付て分配する、政府は之が監督者になつて事業の指揮監督をする組織になりますれば民間に於ても安んじて資金を投ずる者が出來やうと思ひます、斯の如くしましたならば内地に於て競争を避け外國と戰つて打勝つことが出來やうと私は考へるのであります、斯の如き方法でも講じなければ今日鐵の處理に付ては中々容易ならぬことと考へるのであります、是は實に國家の大問題と考へます、宜しく我が國民は是等に向つて十分の攻究を爲すべきことと考へますが、今日の問題にもあるやうであります、今や我國鐵の輸入が將に杜絶せんとするのであります全く外國より輸入することが出來なくなりましたならば實に造船業者を初め困難を來すに違ひない、併し私は却てそれを希望する、今日の場合寧ろ絶対に杜絶せられんことを望むのであります、何を以て斯の如きことを言ふか、物と云ふものは極端に窮境に陥らなければ物の攻究は出來ぬ、今日御出席の各方は皆専門家、學者各位と思ひますが、甚だ難きを望むやうでありますが外國より輸入する所の品物に代る所の代用品と云ふ物を發見せんことを學者諸君に望むのであります、我國に出來ぬ物を發明されんことを望むのであります、是は今日多額の輸入が出来るから切迫しないのである、絶対に品物が外國から來ないと云ふことになつたら絶対絶命、最早仕方がない、何かを以て補ふと云ふことになつてくる、故に私は寧ろ今日に於て外國の輸入は絶対に杜絶せんことを望むのであります、而して此席に御出席の方之が研究をされんことを偏に希望するのであります(拍手)